

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	個々の希望に添った外出や趣味に向けた支援を行ってきたが、入居されて9年が経過される現在91歳の方を先頭に加齢と共に体力の低下も目立ってきている。日課の中に転倒予防体操を組み入れたり、敷地内の菜園での野菜作りから料理作りへと個々の持ち味が生きがいへ向けられ、ご本人、家族共に楽しく安心した日々が送れる様な支援をしていきたい。	日々の生活の中で、その人、その人の生きがいとなる様な動きや表情等をみつけ継続出来る様に支援する。	①現在の生きがいにつながる生活への探求を継続し、入居者さんの安心して生きていける暮らしを追求する。 ・生活歴等の再確認 ・日常生活の中での活動への取り組みと内容について ・その時、その時の表情の変化等についてスタッフ、家族との意見交換 ・本人、家族が安心して暮らせる暮らしについて ②実現可能に向けてのケアプランを作成する。 ③ホーム全体の年間行事や外出支援を計画する。	2ヶ月
				④週1回のカンファレンスにて実施状況について話し合い検討する。 ⑤運営推進会議(2ヶ月に1回)にて目標達成計画への取り組みを報告する。 ⑥家族交流会で家族には出来るだけ近況の報告をしていく。 ⑦グループホームでの外出やかずえの郷等への行事には臨機応変に対応していく。	6ヶ月
				⑧目標達成状況を評価し新たな目標に向けご本人や家族と話し合う。	12ヶ月
					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。